

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2009-276244(P2009-276244A)

【公開日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2008-128693(P2008-128693)

【国際特許分類】

G 01 J 3/18 (2006.01)

G 01 J 3/36 (2006.01)

G 02 B 7/00 (2006.01)

【F I】

G 01 J 3/18

G 01 J 3/36

G 02 B 7/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一方の面から入射した光を透過させる基板と、

前記基板の他方の面に対面する入射面を有し、前記基板を透過して前記入射面から入射した光を透過させるレンズ部と、

前記レンズ部に形成され、前記レンズ部に入射した光を分光すると共に反射する分光部と、

前記基板の前記一方の面側にバンプを介して実装され、前記分光部によって反射された光を検出する光検出素子と、

前記他方の面と前記入射面とが離間するように、前記基板に対して前記レンズ部を支持する支持部と、を備えることを特徴とする分光モジュール。

【請求項2】

前記入射面には、前記分光部に対して所定の位置関係を有する第1の凹部が設けられており、

前記支持部は、前記基板に前記光検出素子を位置決めするための基準部に対して所定の位置関係を有するように、前記基板の前記他方の面側に設けられると共に、前記第1の凹部に嵌め合わされていることを特徴とする請求項1記載の分光モジュール。

【請求項3】

前記他方の面には、前記基板に前記光検出素子を位置決めするための基準部に対して所定の位置関係を有する第2の凹部が設けられており、

前記支持部は、前記分光部に対して所定の位置関係を有するように、前記レンズ部の前記入射面側に設けられると共に、前記第2の凹部に嵌め合わされていることを特徴とする請求項1又は2記載の分光モジュール。

【請求項4】

前記支持部は、前記分光部のグレーティング溝の延在方向と略一致する方向に延在していることを特徴とする請求項2又は3記載の分光モジュール。

